

## 中南米で生まれる ハンドロールシガールの 贅沢な味わい

世界へ向けて良質な葉巻を産出し続けている中央アメリカの国々。ホンジュラス共和国は、キューバの南西に位置し、古くからハンドメイドシガーづくりが盛んな地域だ。葉巻の一大消費国であるアメリカへの輸出は現在、ドミニカに次いで第2位であり、品質の良い品が比較的安価に製造されている。1960年代のキューバ危機によって、キューバのハバナ産葉巻がアメリカへ渡らなくなり、ホンジュラス産葉巻の需要は高まった。それら周辺国の事情も外因となり、高品質な葉巻製造の土地が培われてきたと言える。

ホンジュラス産葉巻の味の特徴はしつかりとしたボディの深い味わいと、中南米などを産地とする様々な葉原料を用いた味のバリエーション。国内には、いくつもの製造工場が点在するが、その中でも特に世界のシガーファンから熱い視線を集めているのが、Maya Selva Cigares 社が提供するフロール・デ・セルバ (FLOR de SELVA) だ。

## シガー界の生きる伝説、 マヤ・セルバの 情熱が詰まった一本

Maya Selva Cigares 社は創業から、すべてハンドロールで仕上げる生粋のホンジュラス産葉巻を製造している気鋭のブランド。20年以上に渡ってつくり出されてきたフロール・デ・セルバは、これまで20以上の賞を受賞するなど、欧米を中心に高く評価をされている。同社の代表は社名にも名が刻まれている女性社長、マヤ・セルバ氏。ユーザーも作り手もほとんどが男性である業界において、彼女の葉巻への情熱、センス、女性ならではの繊細さを活かした商品たちは多くの愛好家達を生み、プレミアムシガーの世界で生きる伝説とも謳われている。

フロール・デ・セルバの特徴は、外観の色の濃さとそこから想像される通りのミディアムボディの味わい、そしてハンドロールで作られた贅沢さを醸し出す存在感だ。これまで日本では、限られたショップでのみ取り扱われていたが、2016年11月より、全国販売が開始されることとなった。発売されるのはフロール・デ・セルバ・

世界中のファンが注目する  
ホンジュラス・プレミアムシガー

# フロール・デ・セルバ 5 銘柄が全国販売開始

葉巻の本場、中南米を代表するブランドの一つである Maya Selva Cigares 社が、主力であるフロール・デ・セルバの5銘柄を日本で全国発売する。2016年10月19日に、東京都内で開催されたパーティでは、代表の女性社長、マヤ・セルバ氏が関係者に向けて商品お披露目を行った。



1. 東京・銀座で行われたパーティには多くの関係者が出席。2. 会場ではフロール・デ・セルバのシガーをイメージしたブランデーベースのオリジナルカクテルも用意。3. マヤ・セルバ氏の葉巻作りに対する情熱に感銘を受け、この度パートナーシップを組むことになった秋山産業株式会社の秋山裕代表取締役(左)。4. 会場にはフロール・デ・セルバの新作シガーが並び、参加者は思い思いに新作シガーを愉しんだ。5. マヤ・セルバ氏は、「暮らしは芸術である」というヨーロッパの文化を、フロール・デ・セルバを通して日本でもお楽しみいただければ」と語った。

## FLOR de SELVA



ホンジュラス国内で一本ずつハンドメイドで製造され、100%天然かつロングフィラーにこだわったフロール・デ・セルバ。本格派の味わいが人気のパナテラや、穏やかでありながらシャープさも持ち合わせた定番のロブスト、スパイスの効いた吸い応えが葉巻の経験豊かな上級者もうならせるロブスト・マデュエロといった、幅広い味わいの5銘柄がラインアップする。

シリーズの全5銘柄。パナテラ(直径11・9、長さ114mm、800円)、プチコロナ(直径16・67mm、長さ140mm、1100円)、ロブスト(直径19・8mm、長さ121mm、1300円)、ロブスト・マデュエロ(直径19・8mm、長さ121mm、1300円)、No.15(直径20・2mm、長さ140mm、1600円)。

これまで、同社の葉巻を味わってきた愛好家だけでなく、初めてホンジュラス・シガーを味わうシガーファンにも新たな扉をノックする気持ちで、その深い味わいを堪能していただきたい。

フロール・デ・セルバ代表のマヤ・セルバ氏。同社は、フランス、ドイツ、そしてスイスその他ヨーロッパの国々で成功をおさめている。